秋津公民館主催講座

『戦後７４年・
秋津(あさひば)の地名と戦争遺産』

―― 重爆撃機「飛龍（キ－６７）」を生産した官設民営の
三菱熊本航空製作の巨大な工場群とその関連施設を重点に ―

付図

付図１．三菱重工業（株）熊本航空機製作所の工場・付属飛行場
寮社宅等の厚生施設用地（配置図）　１ページ

２．三菱４式重爆撃機飛龍（キ－６７の機影　2

３．三菱４式重爆撃機飛龍（キ－６７）の図面　3

４．三菱重工業（株）熊本航空機製作所の工場レイアウト　4

５．三菱重工業（株）熊本航空機製作所の年度別工場建屋建設計画　5

６．福利厚生施設の配置図　（全体と水菱園・健菱園）　6

７．　〃　（青年学校と独身寮）　7

８．掩体壕の実測図　8

（三菱物語・ふるさと東部の歴史等参照）

平成３１年５月２５日

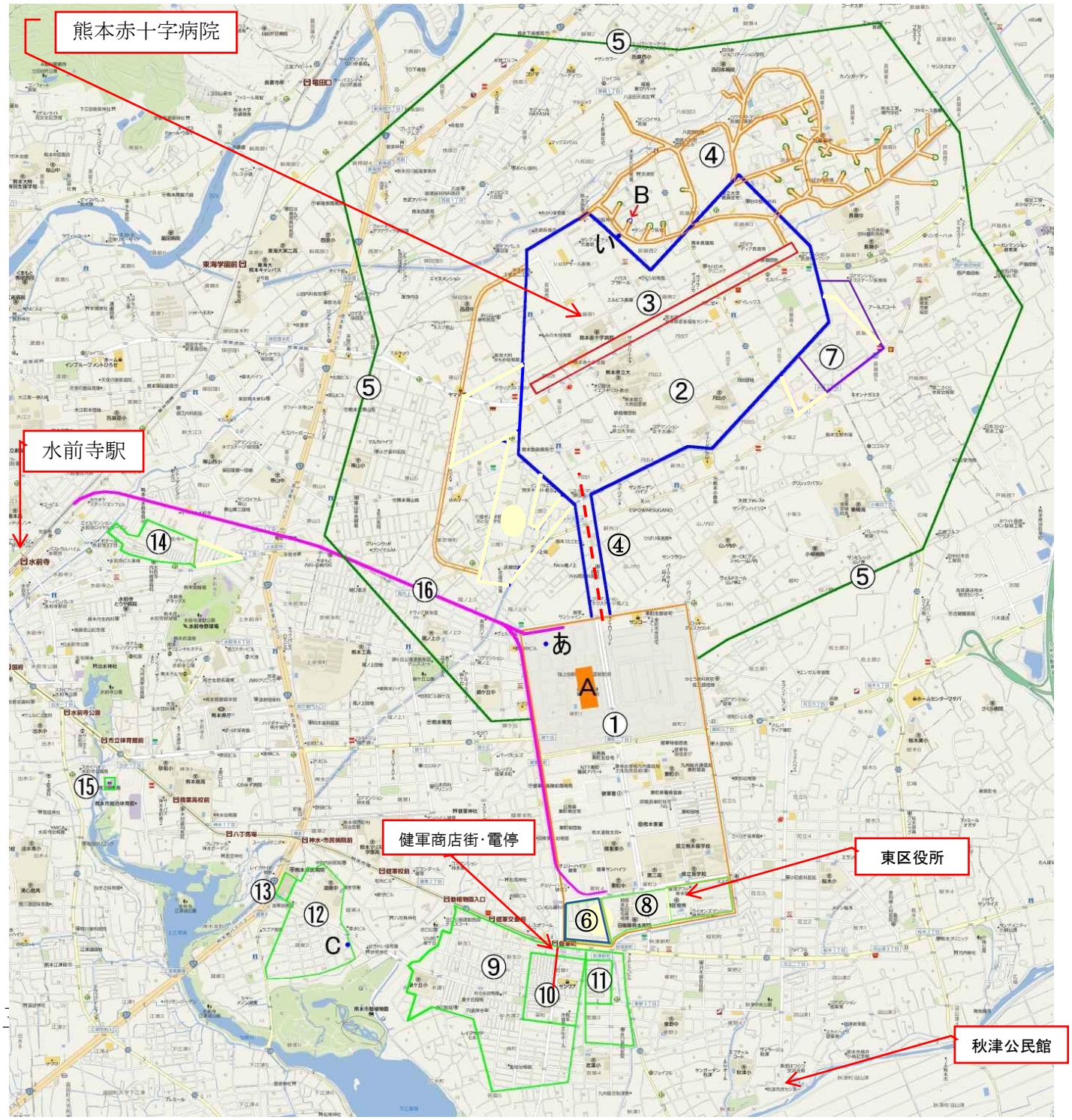
令和１年５月９日・１６日

秋津公民館

（熊本地名研究会員　中村　安幸）

三菱重工業㈱　熊本航空機製作所　関連施設

付図　1



関連施設名（大まかな場所を表したものです）　　付図　１－②

①三菱重工業㈱　熊本航空機製作所（オレンジ）

②試験飛行場（青）

③滑走路（赤）

④誘導路（赤の点線とＢ周辺のオレンジの路）

⑤特別地域指定線（緑）

⑥三菱病院建設予定地（紺色）

⑦太刀洗陸軍飛行学校　熊本教育隊（紫）

⑧三菱熊本青年學校（黄緑）

⑨健菱園（工員社宅）（黄緑）

⑩寮（青年學校生徒、独身工員、徴用工）（黄緑）

⑪秋津寮（女子工員、女子挺身隊）（黄緑）

⑫水菱園（工員社宅）（黄緑）

⑬民生病院（報国寮を使用）➡終戦後熊本市民病院へ（黄緑）

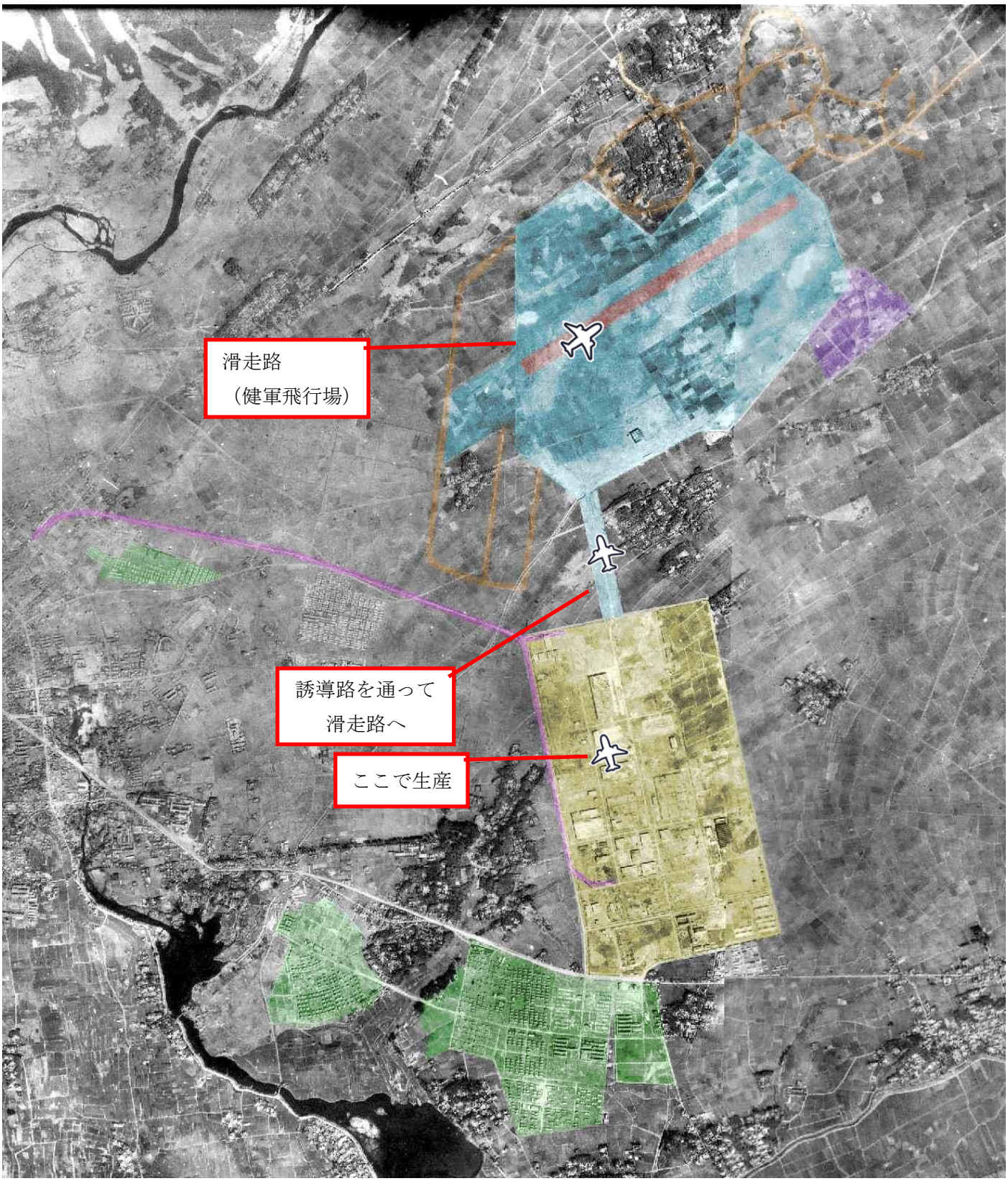
⑭前菱園（工員社宅）（黄緑）

⑮江津荘（出張者宿泊所、のち本部事務所）（黄緑）

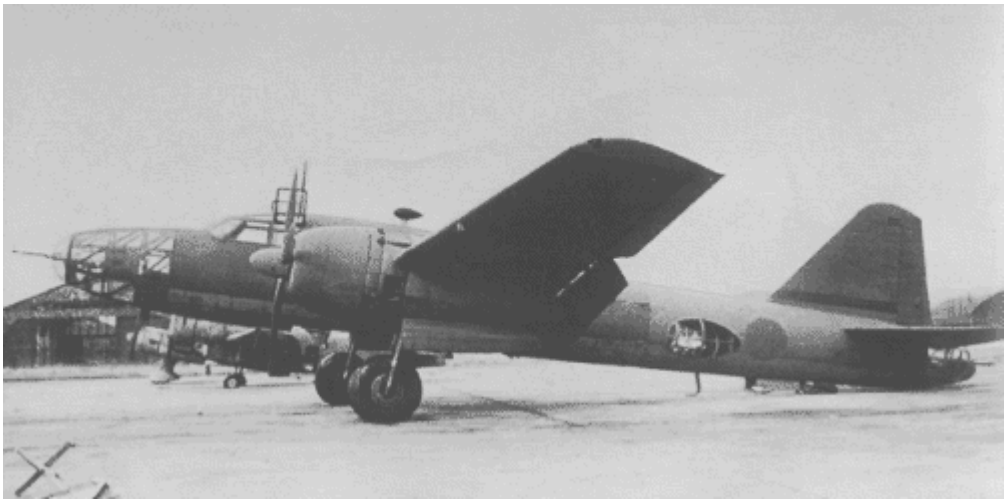
⑯引き込み線（ピンク）　至る豊肥本線

Ｂ＝掩帯壕

航空写真（昭和 22 年 3 月 13 日）　　付図　1 - ③

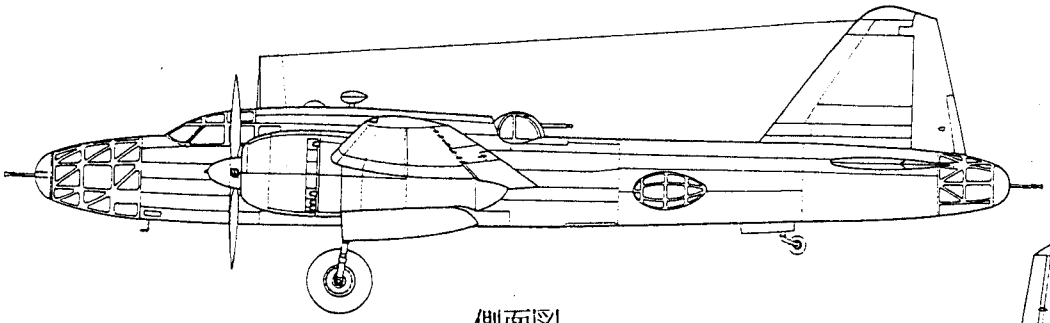


陸軍重爆撃機「飛龍（キー６７）（熊本航空機製作所で作られていた飛行機）　付図　2



http://www.sashipro.com/?page_id=1289

飛龍　（キー６７）【仕　　様】	
機　体	【全幅】22・5m　【全長】18.7m　【全高】7.7m　【重量】3,765 kg 【乗員】6～8 人
性　能	【最大速度】537 kmm／h　【巡航速度】400 km／h 【航続距離】3,800 km
武　装	【単装旋回砲】12.7mm　6 門　【連装旋回砲】12.7mm　1 門 【旋回砲】　20mm　2 門　【爆弾】800 kg
発動機	【型式】空冷２重星型１８気筒　【基数】２基 【離昇出力】1.900 馬力　【燃料】3,885ℓ



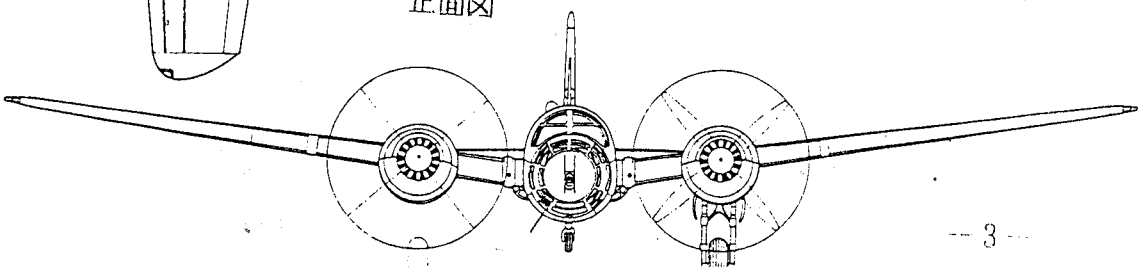
側面図

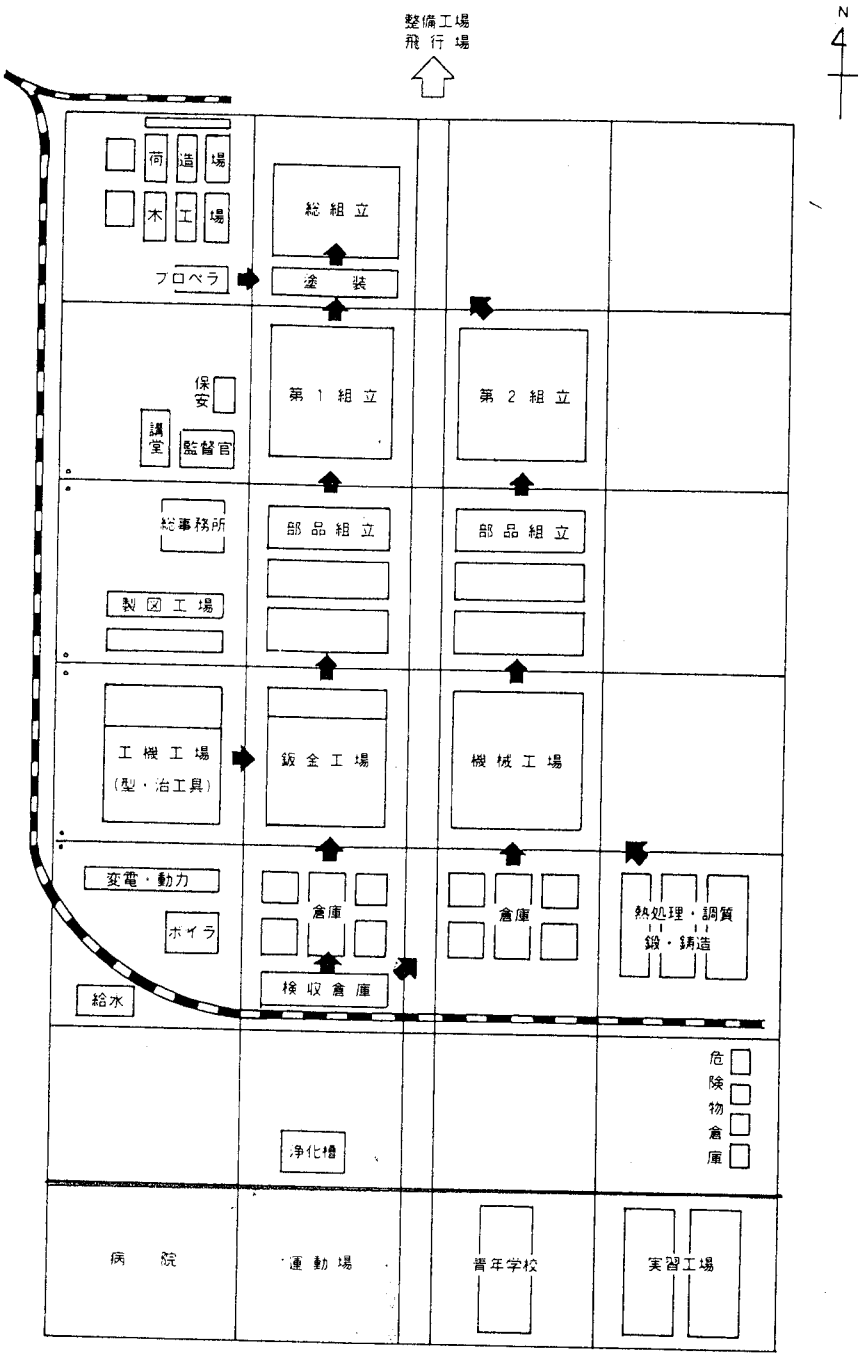
平面図（上から見る）

平面図（下から見る）

三菱４式重爆撃機「飛龍（キ―６７）」の図面

正面図



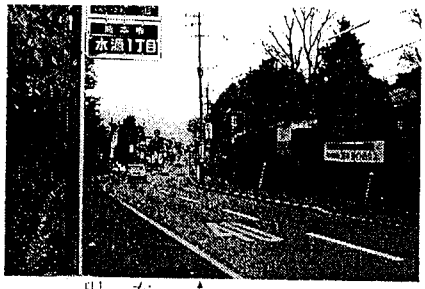


三菱重工業熊本航空機製作所の工場レイアウト

工場建物配置計画図（地図上オレンジ色の囲みの部分）

組立工場（N240、N230 ）は、現在も自衛隊内にある三角屋根の建物（地図のＡのところ）

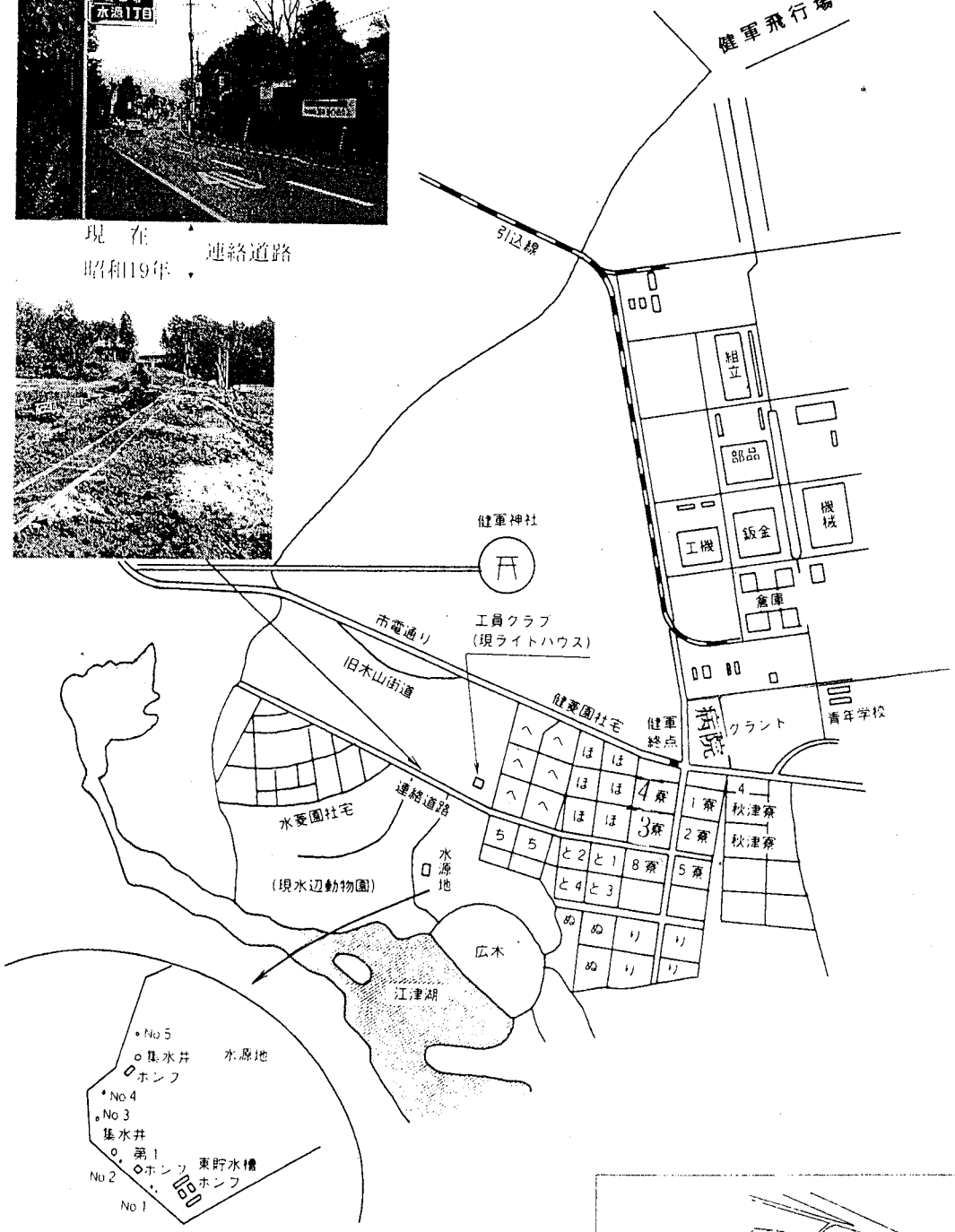
付図 6

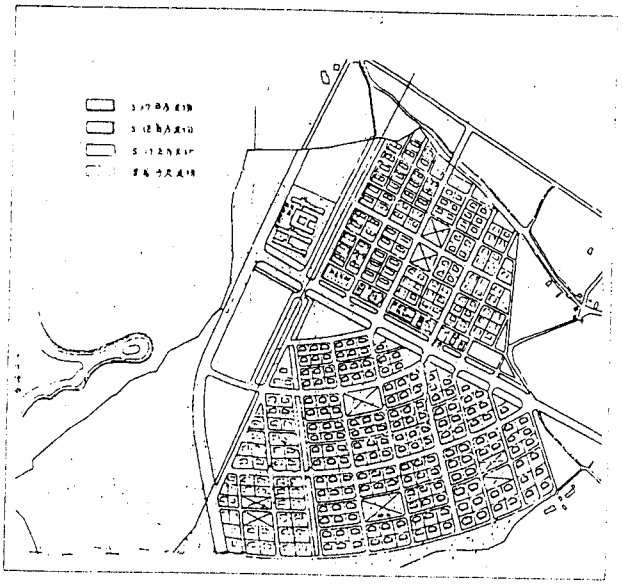


現　在

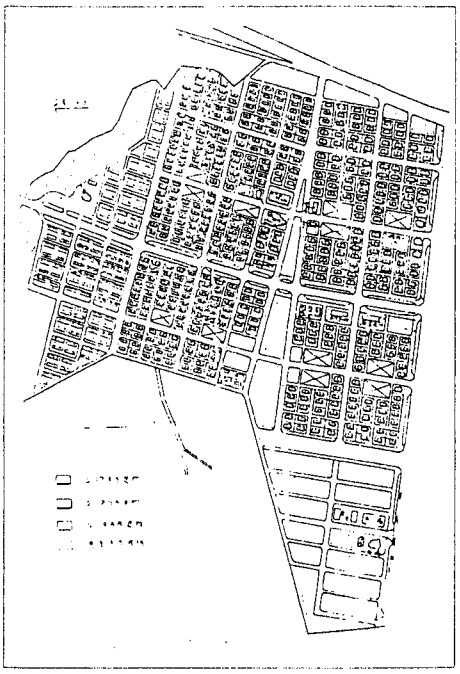
連絡道路

昭和19年





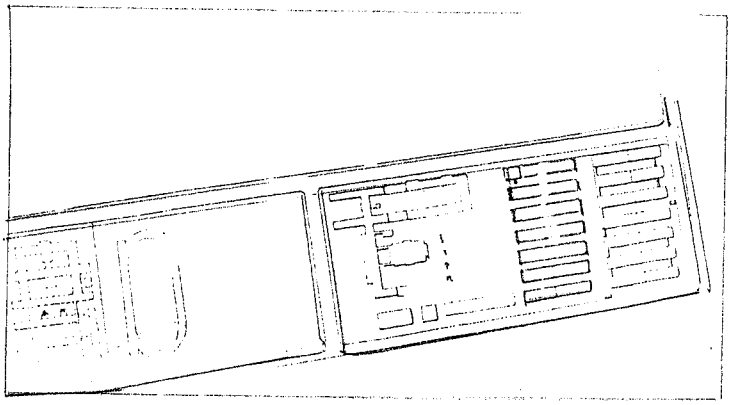
水菱園社宅配置図



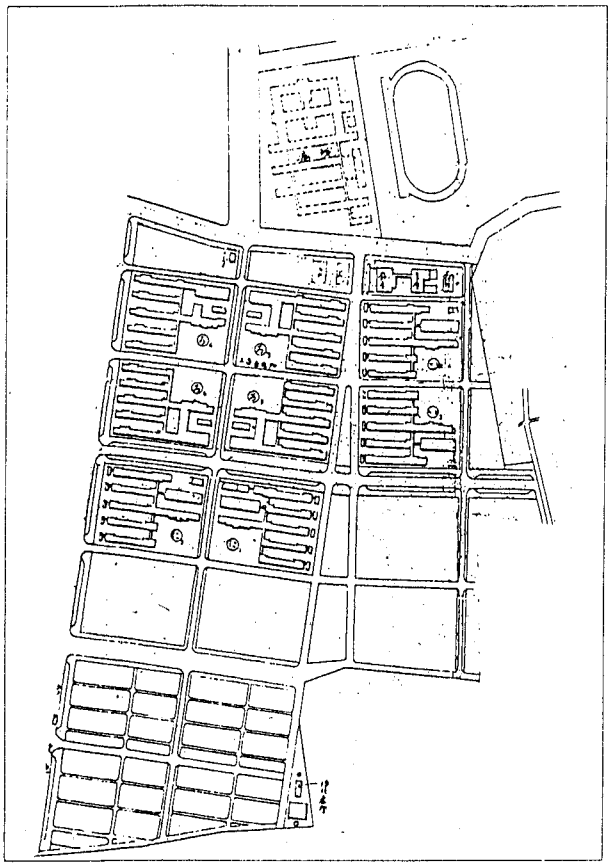
健菱園社宅配置図

福利厚生施設の配置図

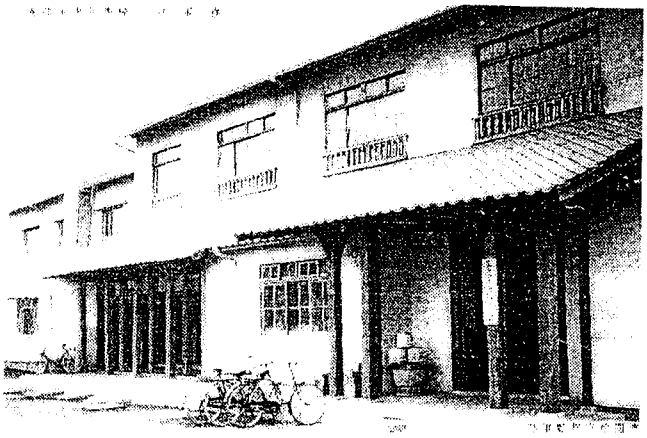
青年学校校舎　玄関



青年学校、及び実習工場配置図



寮、厨房配置図



青年学校生徒寮

〔健軍寮〕　〔秋津寮〕

4寮	1寮	1寮
3寮	2寮	2寮
8寮	5寮	

(7寮)(6寮)

福利厚生施設の配置図

５．掩体壕（えんたいごう）（地図Ｂの地点）　　付図　８

長嶺西２丁目 15 番（字迎八反田居屋敷）

戦争遺物。太平洋戦争中、飛行機を空襲から守るために、菱形に土塁を築いた（又はコンクリート製）飛行機用の防空壕。誘導路で縦横に結ばれていた。

戦闘機用のコンクリート製有蓋型は各地（大分、松山、千葉等）に残っているが、重爆撃機用の土製の無蓋型が当時の姿で残っているのは難しいとされている。菱形の幅は、外縁部 36m、内縁部 22m。奥行きは外縁部 35m、内縁部 27m。高さは最大 2.4mで出入り口は低くなっていいる。重爆撃機の「飛龍」が収納されていた。

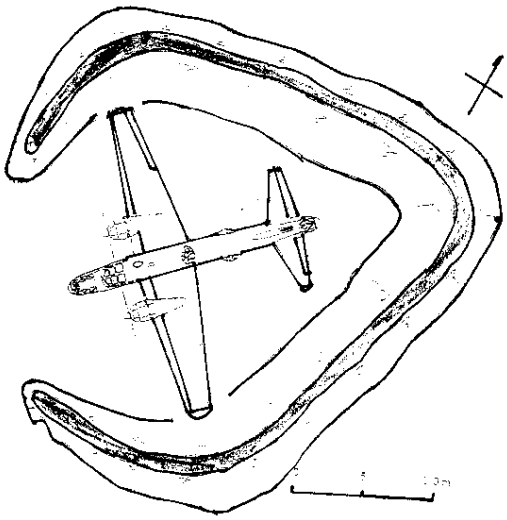
平成 25 年 5 月の連休明けに、更地にされた。

誘導路あとは１本残っている。（託麻西小北を通り神園山荘に到る道路）

（補足）

掩体壕とは戦闘機や爆撃機を敵の襲撃から守るための飛行機用防空壕（シェルター）。天井が無い無蓋型土塁の掩体壕。幅は、外縁部３６ｍ、内縁部２２ｍ、奥行きは外縁部３５ｍ、内縁部２７ｍ。高さは最大 2.4mで出入口は低くなっている。爆風から機体を守るためのもの。上空から見つからないように草木を被せてカモフラージュしていた模様。誘導路で滑走路とつながっていた。

（写真提供：「九州ヘリテージ http://kyushu-heritage.jp　」）　　飛龍の模型を合成

貴重な戦争遺産であったが、平成 25 年 5 月に更地にされた。

（写真提供：田中穂積さん）